

# 「千人の県本部めざして」 第18回県本部大会開催



じているが現場では実効があがっていない。現場から声を上げなければ若者に魅力ある業界にはならない」と述べ、組合の役割を訴えました。

県本部組合員数は今年六月時点で八二五人になりました。前年比で十九人の純増となります。

石井書記長は運動方針で「中期計画として千人の県本部をめざしたい。さらに業種の枠を超えた組織拡大を追求するため、トラック職場支部をダンプ支部に編入するなど、大胆な組織改革に取り組み

う」と提案しました。

## 奮闘する状況のなかで 仲間のかげで

討論では九人の代議者が発言しました。

いることに勇気をもらった。職場では一人だが

県本部組合員の存在を力にがんばりたい」と感想を述べました。議案は満場一致で採択されました。



いずれも組合の役割に確信をもち、苦しみながらも職場、地域で奮闘する前向きな内容でした。はじめに参加したナリウエ運輸のパワハラと闘う尾嶋秀一さんは「県内にたくさん



# 佐野ラーメン放浪記⑬

## 【神田餃子屋（吉水町）】



餃子と言えば宇都宮が有名になりました。しかし、佐野市民の評価は「佐野のほうがか絶対うまい」。佐野で餃子といえば「神田餃子屋」。といったも餃子専門店ではありません。

市内各店にラーメンを求め、土日は首都圏からも多くの人がやってきます。「青竹打ち」とか「手打ち」の看板で「佐野ラーメン」と名乗れば開店したばかりの店にも行列ができません。そんな流れとは無縁、堂々地味路線の名店です。

創業は昭和四十九年。地元民に愛される大衆食堂で



バーベキューを楽しむ葛西さん(右)とホアンさん

## 【組合員紹介】 葛西慶仁さん(大工38歳) ホアン・ヴァン・チャンさん(大工26歳) 「ベトナムの若者に日本の技術を」

深刻な人材不足が続く建設業界。大工など職人の世界も同様です。

大手住宅メーカーでは、ベトナムで人材を募集(筆記だけでなく腹筋背筋など体力テストもあり)、研修を行ってうえで日本に派遣し協力会社で働

んのもとにきたのがベトナムザライ省から来たホアン・ヴァンさん。日本に来てまだ一年半ですが、簡単な日常会話はできるようになり、連日一緒に現場に出て大工見習いとして働いています。葛西さんの話「最初は言葉の問題とか大変でした。真面目ですね。いままでいるんな日本の若者を見てきたけどやる気度が違います。人を育てる楽しみもあります。」



「昭和」が似合う脂がのった男3人。

ただいま秋の組合員拡大月間絶賛実施中です。まだ組合に入っていない方を紹介ください。一〇月から生命保険「損保ジャパン日本興亜ひまわり生命」を取り扱えることになりました。ご相談ください。